

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	7/31/2024
所属学部・研究科・学府	教育学研究科
所属学科・専攻	学校教育学専攻
留学時の学年	大学院 2 ～ 3 年目

1. 留学先について

留学先大学名		モナシュ大学											
留学先所属学部等		文学部											
留学期間	出発日	2/9/2024		入学日	2/10/2024		修了日	6/26/2024		帰国日	7/2/2024		
住居		大学(紹介) の寮・アパート		☒	民間アパート			その他 ()					
	住居の決め方		いくつかある寮の中から抽選										
	通学時間		10分							On campus			
	通学方法		徒歩										
	居室スペース ✓を入れてください		☒	個室		() 人部屋			その他 ()				
	共有スペース ✓を入れてください			完全個室	☒	キッチン	☒	トイレ	☒	バス	☒	リビング	
食事	自炊 10 % 学食 95 % 外食 5 % その他 % ()												
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)		ジェイアイ傷害火災保険株式会社、一番上のコース（半年プラン）										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)		OSHC、学生ビザの人は必ず申し込むもの								☒	加入必須	
	その他加入保険												
渡航ルート		ex.) 成田⇄シカゴ（飛行機）⇄ウィスコンシン（電車）											
羽田 ⇄ メルボルン（飛行機） ⇄ クレイトン（タクシー）													

2. 留学資金の内訳

自費	☒	貯金	1,000,000 円		アルバイト	円		その他	円
援助	☒	親	600,000 円		家族・親戚	円		その他	円
奨学金	☒	JASSO	420,000 円		その他名称 ()				円
その他		()							円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	1,600,000 円
-----	---	-------------

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			400,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			86,890	円
その他の保険料	AUD	400	40,000	円
査証・在留許可証	AUD	500	50,000	円
住居	AUD	6,975	697,500	円
光熱費				円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)	AUD	180	18,000	円
食費			200,000	円
通学に要する交通費				円
教科書, 教材費				円
その他大学に支払った経費				円
その他 (交友費、雑費)	AUD	1,000	100,000	円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	

3-3. お金の管理方法

渡航時	☒	現金	10,000 円		その他	(	)	円
留学中	☒	海外送金	☒	キャッシング		その他	(	)
現地での口座開設		開設した	用意した書類や気を付けること等 (				☒	開設しなかった

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換			
1 WORLD ENGLISHES	正規	6		有	☒	無
2 CRITICAL ISSUES IN ENGLISH LANGUAGE LEARNING AND TEACHING	正規	6		有	☒	無
3 BI/MULTILINGUAL EDUCATION	正規	6		有	☒	無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

渡航前に取りたい科目を4つ選択し、インターネットで登録します。その後、現地に行きどの時間の授業を履修するかを決めます。授業によっては、同じ名前でも色々な時間にやっているのので、他の授業と被らない時間で履修することができます。もし受講を辞めたい場合は、専用のフォームがあるので、それを通して申請をすることができます。

4-3. 授業内容, 方法に関して

基本的に事前課題が出され、それをやってきた前提で授業は進みます。私が受講したものはディスカッションが主体のものが多くありました。ものによってはオンラインで完結するものもあります。

4-4. 語学力について

全て英語で行われますので、最低限の語学力は必要です。また、ディスカッションに参加するためには専門用語に関しても知っている必要があるのので、自分の専門分野の英単語は覚える必要があります。

4-5. 図書館など学内施設について

図書館は平日は朝から夜まで空いています。図書館の他に大学院生のための24時間使える勉強スペースもありました。

5. 生活面

5-1. 住居について

寮に住んでいました。騒音はお互い様なところがありますが、できるだけ気をつけていました。

5-2. 食生活について

バスで15分ほど行ったところにあるアジアングローサリーで日本の調味料を購入できました。また、一通りキャンパス内の食べ物屋さんを回って相場を理解しておくといいと思います。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

現地でSIMを契約しました。Esimが日本のSMSなども受信できて便利でした。

5-4. 服装について

日本と季節が逆なので注意が必要です。ユニクロなど日本でもよく見かけるブランドはありますが、日本より高めです。

5-5. 健康管理について

規則正しい生活を心がけていました。また、果物は日本より安かったのでよく食べるようにしていました。

5-6. 保険，危機管理サービスの利用について

特に利用しませんでした。

5-7. 課外活動について

現地の担当の先生に直接聞いてみるといいと思います。オフィシャルに公開されていなくともゼミの形式など非公式の勉強会などがある場合があるので、その情報を得ることは重要であると感じます。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし

5-9. 日本から持参してよかったもの

電子レンジでお米が炊ける容器、日焼け止めなど肌に塗るもの

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

変圧器

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い， マナーなど)

「ありがとう」や「すみません」などは日本以上に言葉にして伝えることが重要であると感じた。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

フィリップ島（日帰り、45AUD,日本円で約4200円）

その他

友人と話すこと。日本人の友人も作っておくと何か困ったことがある際に助け合えるので重要です。

6. その他

6-1. 留学希望者へのアドバイス

語学力は日本でも高められると思うので、なるべく勉強をしておくことをお勧めします。特に自分の専門分野の語彙は多く身につけておくといいと思います。

6-2. 留学を終えて

とても充実した留学であったと感じています。海外の大学の授業は大変なことも多いですが、その分多くの知識を獲得できました。また、様々な国の学生と友達になれたことも一緒に財産になると思います。